

II 交通局における安全の取組の全体像

1 運輸安全マネジメント制度に基づく継続的な改善

(1) 内部監査

安全に係る取組について、地下鉄部門・バス部門・総務部門が相互の部門を監査します。

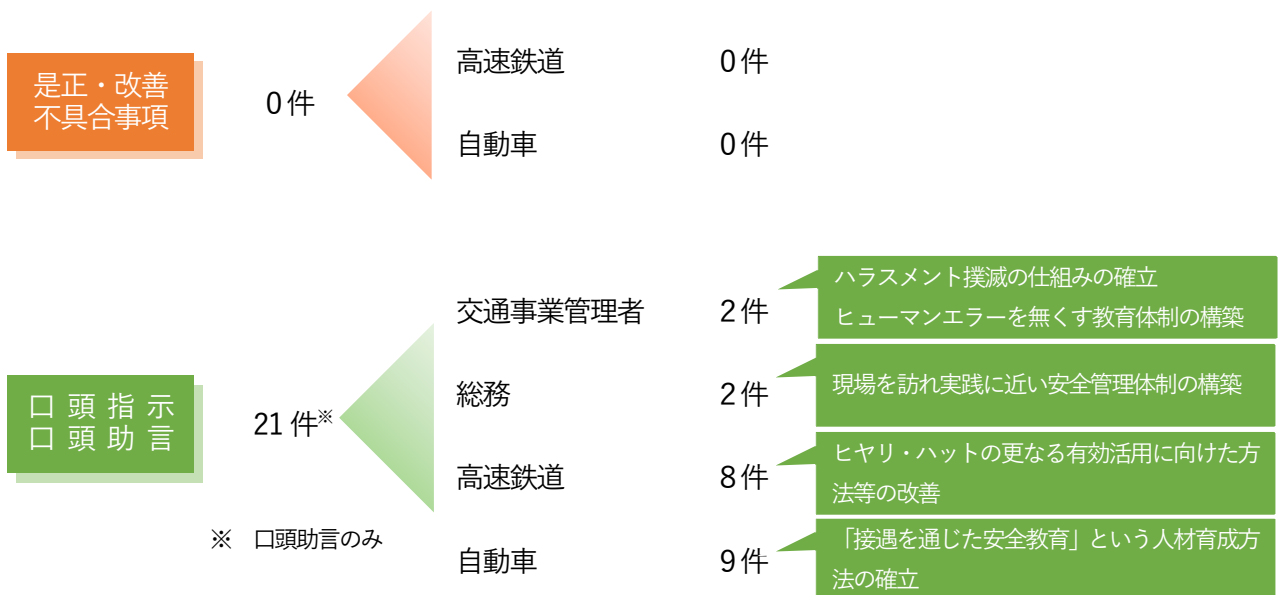
令和4年度は21名の監査員が監査を行いました。監査員の力量向上のため、外部研修への職員派遣や、他チームの監査への立会い、経営責任職及び監査員経験のある責任職による監査員への助言などを行い、監査の質の向上を図りました。

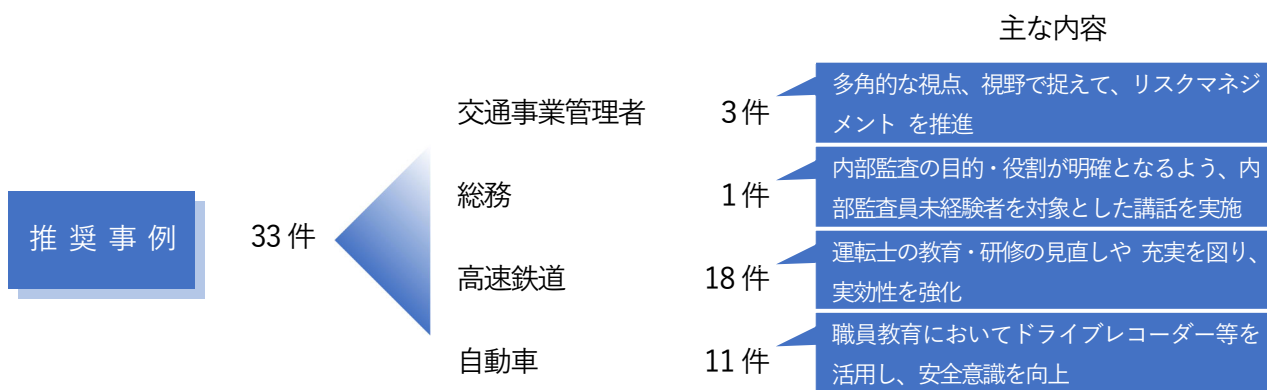
① 被監査組織



※令和4年度内部監査結果 (令和4年 7月～ 10月実施)

② 監査結果





## (2) マネジメントレビュー

交通事業管理者（交通局長）が、令和4年度の安全に係る取組を振り返りました。

部門	項目	局長指示
高速鉄道	ルールの順守及び安全意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリ・ハットや気づきを改善につなげるのは責任職の大切な仕事の一つ。些細なことでもよいので、職員が「自分が言うことが安全につながっている」と実感できるようにつけていかなければならない。</li> <li>大切なことは見逃さないこと。自分の担当外であっても関心をもって気づいてほしい。そして気づいたら念のためよいので、所管に確認し上司に報告してほしい。少なくとも業務時間内は移動中であっても、施設、設備、お客様のことも含めてすべてに関心を持ってほしい。</li> </ul>
	安全第一の職場風土醸成、双方向の意思疎通	<ul style="list-style-type: none"> <li>係員同士の確認会話では、受け手が「はい」で終わらせないで必ず復唱することの習慣づけが重要である。配属された時点で、そういう習慣がつくよう教育しないとイケない。</li> </ul>
自動車	安全意識と技能向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導と研修の区別がない。まずは研修と指導を切り分け、整理・統合させていくべきである。</li> </ul>
	安全第一の職場風土	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じことの繰り返しではなく、トライ＆エラーで色々なことにチャレンジし続けること。</li> </ul>
総務	安全風土の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>運輸安全マネジメント制度を浸透させるのは難しい。過去に起こした事故から、最終的には運輸安全マネジメント制度の理念や考え方が安全を維持向上させていくためには欠かせないという考えになるよう、一連のストーリーとして作ることが永遠のテーマになる。私たちが仕事をしていくうえで、安全がどれくらい大切なことなのかを伝えられるよう工夫すること。</li> </ul>

## 2 安全風土の醸成と安全教育

### (1) 局長研修・対話会

局長自らが地下鉄・バスの各現業職場に赴き、局の現状を伝え、職員との意見交換を延べ 22 回実施しました。

	地下鉄			バス	合計
	駅務管理所	乗務管理所	保守管理所	バス営業所	
回数	新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止			22 回	22 回
参加職員数	新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止			390 名	390 名

### (2) 安全統括管理者による職員研修

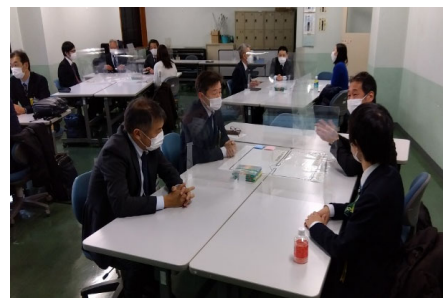
両事業の安全統括管理者が講師となり、非現業職員を対象に、運輸安全マネジメント制度の取組などについて研修を行っています。

令和 4 年 9 月に全 2 回実施したほか、新型コロナウイルス感染症対策としてその研修の動画を局内で閲覧できるように配信し、延べ 271 名の職員が参加しました。

### (3) 安全研修

交通局で発生した重大事故を通して、職員一人ひとりが安全について主体的に考え、自らの行動を改めて見つめなおす場として、全職員を対象とした安全研修を実施しています。令和 4 年度は 281 名の責任職・職員が受講しました。

研修では、重大事故について感じたことや、安全に対する思い、自分の職場でのリスクなどについてグループ討議を行っています。



▲安全研修の様子

### (4) 交通局安全大会

過去の事故を風化させることなく事故と向き合い、安全運行維持の重要性、安全意識のさらなる向上を図るため、安全大会を開催しています。令和 4 年度は、12 月 1 日（木）に関内ホールで開催しました（参加職員 340 名）。また、参加できなかった職員に向けて映像を各職場に配信し研修等の機会を活用し、全職員に共有しました。

安全管理部長から「過去の重大事故を教訓とし、原因や背景を自身の業務に置き換え、どのような心構えで何をすればよいのかを考え実践していただきたい。」というメッセージが、交通局長からは「安全というものにゴールはなく、あたり前にある状態でもない。リスクをゼロにすることはできないが、毎日 1 ミリでも安全な状態に近づくよう日々危険の芽を摘み取ることが大切である。」というメッセージが送られました。

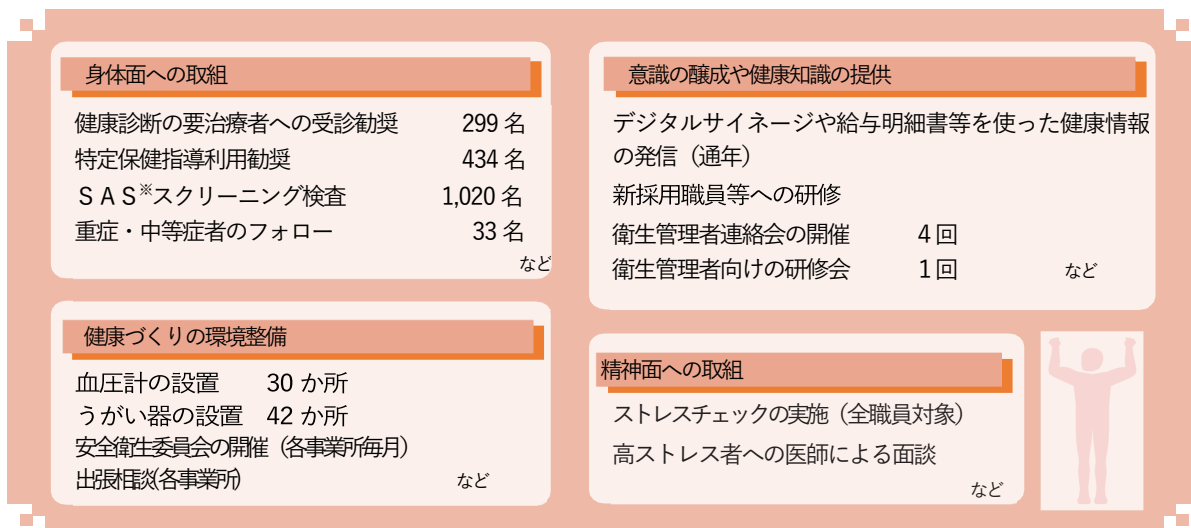


▲局長による講評

### 3 職員の健康管理と働きやすい職場づくり

#### (1) 職員の健康管理

安全な運行が保たれるよう、健康管理の面から職員の支援を行っています。「健康管理は安全管理である」という意識の醸成や産業医・保健師による職員の健康相談や指導、メンタルヘルス対策などに取り組んでいます。



※SAS：睡眠時無呼吸症候群

#### (2) 職員向けアンケート

交通局の経営理念や安全の取組について、毎年、全職員を対象にアンケートを実施しています。職員の理解度や実践状況を把握し各職場での取組に活かしています。

経営理念に関するアンケート	安全の取組に関するアンケート
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通局経営理念について</li> <li>・安全に対する意識について</li> <li>・職場の組織風土について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通局安全方針について</li> <li>・安全重点施策について</li> <li>・ヒヤリ・ハット情報への意識 活用について</li> <li>・安全確保の取組への捉え方について</li> </ul>
ほか	ほか

### 4 お客様の声

お客様からのご意見・ご要望・お叱り等は、「お客様の声」として、局内のシステムにより共有しています。要望等については重要性や緊急性に応じて、計画的に対応しています。

	地下鉄	バス	その他	合計
お客様の声 全体件数	725 件	1,812 件	44 件	2,581 件
お褒め	35 件	212 件	0 件	247 件
ご意見・ご要望等	690 件	1,600 件	44 件	2,334 件

### 5 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、車内や施設の定期的な消毒や換気、お客様への啓発、手洗い、うがい、点呼時の体調確認、職員の健康管理などに取り組んでまいりました。